

74 新破天荒

今年四年生
創刊 第 6 号



2学期の 始まりです

姫路南高校での初めての夏休みは、どう有意義に過ごしましたか？

世の中の教育評論家、知識人の中には、ワイド番組のコメントーターとして、休業中毎の「宿題」を、日本教育の「諸悪の根源」のように語っておられました。教育の理想としては、仰る通りかもしれませぬ。

ならば

まずは生徒の皆さん。他校に比べれば、多くはない長期休業中課題の他に、皆さんは自分自身にどんな課題を課しましたか。自分の得意分野、弱点強化をどう図ったのでしょうか。

結果が欲しいのではなく、どんな結果を手にするために自分の課題をどう設定し、自らが設定をした努力内容をどのように継続していくことができるか。

世の評論家の皆さんが語る理想を実現していくためには、七十四回生のうちどれぐらいの人が自分を

鍛えたのかによりますね。

一方、

保護者の皆様

お子様に対して、将来に何を期待し、何を求めているのでしょうか。

世の中は、学力以上に「表現力・対応力」を身につけることを、声を大にしています。そのため、自ら判断し行動する時期を、ますます低年齢化させています。小さな子供たちにも自ら判断させる機会を増やすことは、心地よく耳には響きます。

一方で、大人でも判断が困難なことを、小さい時期から子供たちに求めていくのです。

判断力を高めるために、様々な失敗を通して成長する時期である幼少期を過ごさせることなく、大人と同様に正しい判断力を期待する……。

大変な時代です

七十四回生も同様に、大きな課題を抱えています。もともと、高校生の時期は人より目立つことを避けようとするのですが、七十四回生の傾向としてはそれが顕著であると思います。

「そんなことはない」と思われるならば、お子様との話の中で、主役は「自分が」か「みんなが」かを振り返ってもらえればと思います。

「書く」表現力は、在職した歴代校の中でも高い方です。しかし、個人で人前に立ったときの表現力は、残念ながら「何かを伝えたい」表現と呼ばれるものではなく、「早くその場を逃れたい」ノルマ的な時間を過ごしているのが現状です。

力がある生徒を目の前にして、今の時代にリンクする、「自分のために」表現する力を発揮させるには、

七十四回生、というよりも、姫路南高校生には、

「身に付ける」ことの前に

「やってみる」勇氣

を引き出す必要があります。

そのためには、生徒たちに

期待を具体的に提示

し、行動のきっかけを与えること。そして、学校が挑戦の場であり、将来の成功のためにも人前で失敗を恐れず行動することの必要性を知り、その失敗を通じて達成感を持つことができるよう、その失敗を分析して、自分の行動を評価して、挑戦を繰り返させることが大切です。

授業の中でも、人の前での発言させることを求めないことも増えている時代です。人の個性として、そういったことも認めることが必要かもしれません。しかし、考えて頂きたいのは、課題を先送りしているだけでも言えませんか。

七十四回生が成人と認められるまで、はやければ一年半の期間です。成人になつてしまえば、余計に失敗を恐れます。そうなつてから、自分の殻を破るための挑戦をする子供さんたちの姿と、いま挑戦をする姿のどちらに、子供さんたちが持つ本来の力を引き出す可能性を感じますか。

二学期は、ある意味人生の大きな進路を決定する文理選択があります。「やらなければ」と思う以上に、自分が決めた「これを」やり続ける事実が多くみられる学期となることを期待します。

生徒の皆さん、保護者の皆様、どうぞ、将来後悔のない振り返りができるよう、「いま」の挑戦に励む学期でありますように。

9月の予定

一日(木)	始業式 服装点検 大掃除
二日(金)	課題考査
五日(月)	課題考査
六日(火)	4～6限 通常授業
十五日(木)	教育相談
二十日(火)	文理選択に関するLHR
二十二日(木)	体育大会前健康診断
二十六日(月)	教育相談
二十七日(火)	進路講演会
	ベネッセによる
	体育大会準備
	体育大会
	姫路市陸上競技場にて
	(雨天等による延期なし)



夏の想に出

一学期終業式を前に、姫路南高校に関わる全ての方々にとって、衝撃的なニュースが飛び込みました。網干高校・家島高校との発展的統合です。七十四回生が直接的に関わることはないですが、七十四回生の三年間の成果は、統合後初めて三年間を過ごす、姫路南高校という七十七回生以降に、確実に影響を与えることになるでしょう。

何かを背負う必要はないですが、姫路南高校の歴史上、こんなチャンスはありません。だからこそ、勇気を持って自分の殻を破る、ファーストペンギンとして、二〇一名の勇気を持った行動を、二学期からの皆さんの行動に期待します。

通知表があ...

令和四年度入学生より、観点別評価を伴う五段階評価へと、高等学校も評価法が変わりました。そのせいもあつたのか、兵庫県公立高等学校校務支援システムの利用が、パンクしてしまう事態に見舞われてしまいました。その煽りで、一学期終業式に通知表の配布が間に合いませんでした。多大な迷惑をかけてしまったことを申し訳なく思います。二学期以降には、そういったことが起こらぬよう、課題点を共有していきたいと思えます。

前期補習にも

新型コロナウイルス感染症禍の影響が出ました。一学期間、七十四回生は、ご家族の皆様も含め、健康管理に留意し、欠席も非常に少なく過ごすことができましたが、コロナウイルス第七波と言っているでしょう。その脅威にさらされて、前期補習も七日間の三日目で、中止を余儀なくされました。残念でした。

転ぶだけでは終わらぬ

暑い中、頑張ろうとしていた七十四回生に、何かできることはないかと考えて、この機会にグーグルクラスルームの活用方法を学んでみました。私は、典型的なアナログ人間だと思えます。対面での生徒との関わりこそが、教育の真髄であると考えます。

ただ、これだけ対面授業の機会を奪われてしまうと、「自分の想いを押し通す場合ではない」と考えるきっかけにもなりました。なので、クラスルーム「74回生」に、「気付いた人へ」という題で、補習が中止になってから、数学の問題を一日一題、配信することを始めました。

- ・ 一対一の対話
- ・ 自主性・主体性の保持



を絶対条件に、強制をすることなく、手の届かない問題を配信することのないよう、継続することを守ることを配慮しながら、後期希望補習前日まで配信を続けることができ、計二十二題に及びました。途中、クラスルーム「七十四回生」を独占しそうだったので、新たに「七十四回生数学科」というクラスルームを創設しました。稚拙な技術力、理解力からくる基本的なミスにより、入室しようとしてくれている生徒には迷惑をかけたが、今もまだ入室ができる状況です。数学に関しては、今後そのルームを使用する機会が多いので、この学年通信を読んだ後、入室をしておいてもらいたいものです。

参加者は、最大七名、常時五名前後と少数ではありましたが、全てが自分の意志で行動し、やり取りをすることができたので、とても楽しく、積極的なやり取りができました。新しいクラスルームの入室依頼を連絡した日には、その当日に二十数名の入室があつたので、自分の中で、参加を促す欲も沸き起こったのですが、「自主性・主体性」を求めることを決めたので、辛抱することになりました。クラスルームへの入室は、現在七十名弱です。「二日一題」は、「いつ復活するか分かりませんが、また反応してください」と入室生徒には連絡をしています。新たな機会では、野球チームができることを、まずは目指してみようと思えます。

いつも通りに補習ができていれば、こんな発想にない込まれたお陰かもしれません。特に今回参加してくれた生徒の皆さん、楽しい時間と、新しい取り組みをする機会を与えてくれたことを感謝します。

7月実力模試の結果が届きました

八月を迎え、十日に先述した発展的統合の会議が本校で行われたニュースは、某新聞を通じてお知りおきの保護者も多数いらつしやると思いますが、時を同じくする頃に、七十四回生初の学力全国大会の結果が届きました。各教科の線型から、「ここから」手を付けよう、アドバイスを一覽にしました。

その前に、学年の概況、他学年比較を伝えたいと思います。

三教科総合としては、一回り前の七十一回生ではなく、高大入試改革が始まった年の七十回生の度数分布に似ています。七十四回生は、先述したように観点別評価のスタート年で、出題傾向も、文章の読み起こしタイプの問題も多くなったと思えます。これも先述した七十四回生の特徴として、初めて見るものに対して、「間違える」より「わからない」と考えて、一度記入した解答に対して「こんな考えも」という、セカンドオピニオンの発想で問題を見直すことが身についていない結果とも取れます。受験している姿を見ると、時間を持て余しているという雰囲気は少なかつたので、時間を無駄にしていることは少ないと思えます。

次回の実力模試では、自分の解答を是非セカンドオピニオンの見直ししてほしいものです。

各教科ともに、全国偏差値の四十五〜五十(得点としては三十点付近)にあたる層の生徒が、普段から基礎を大切にしてくれるようになれば、集団の平均点は格段に当たります。また、南高校に部活動をしに来たと行動する生徒たちが、「どこの」学校で、部活動を頑張るのが理解できる、保護者も含めて、

姫路南高校の生徒

であるからこそ、姫路南高校の「・・・」部と応援されることに気付いてくれれば、集団はエネルギーを発して、競い合いを始めます。

不思議なもので、部活動だけが突出する学年、勉強だけが抜kindる学年はありません。七十四回生初の学校行事「文化祭」での七十四回生たちの成果を振り返ってやってください。

どちらも頑張れる

可能性を秘めた、学年の火を消してはいけません。

ただ、何度も言いますが、

やるのはあなたたち

私たちができることは、

経験を伝えること

背中に手を置くこと

自らの失敗から得た

達成を伝えること

いまの失敗は

未来への道を切り拓く

経験であること

先生方は、人を見てきているプロです。そのプロが、七十四回生第一回学力全国大会に見る皆さんの姿に投げかけた応援メッセージです。次への糧にしてほしいものです。

	内容について	生徒に伝えたいことについて
国語	分野別では論理的文章の得点率が低い。 学力要素別では知識・技能に関する得点率が低い。	長文記述では、要素不足により減点されている。特に変化の結果や筆者の立場など、結論に関する要素が抜けている傾向が強い。問題を踏まえて、必要な要素を確認することを意識しましょう。
数学	3. 数と式の問題も、スマホの契約条件で同じ場合分けの問題であれば、根気よく考えたかもしれない。今後、興味・関心を持って文章題と向かい合えるかを問われた問題である。	見直し、計算処理速度のアップのために、基礎の反復を徹底できるかどうか。そのために、少なくとも「3回」、新鮮な気持ちで問題と向き合うことが大切である。
英語	今回の学力テストでは、「文法・語法」「長文読解」の得点率が特に低かった。	「論表」で学習した文法事項を復習し、ワークブックを何度も解くこと。 「ターゲット」を繰り返し学習して語彙を増やすことも大切である。

そうこうしているうちに、

後期希望補習

がお盆過ぎの十八日より始まりました。

現状では、なかなか部活動と希望補習は並び立ちづらいですが、「両立を望む」生徒のためにも、何か工夫ができるのでは、と思いつながら過ごした後期補習の期間でした。

参加してくれた生徒の皆さん、課題考査にその成果が見られるとよいですね。

一方、少し残念なことが。大会を控えた部活動の生徒たちが、結果的に

無断で

希望した補習を欠席した事実がたくさん出ました。

私たちは「どちらも頑張るってほしい」気持ちに偽りはありません。

ただ、大会のために補習の代わりに練習に参加できないかという確認を、部活動顧問に相談し、補習担当の先生に先に相談しておれば・・・。

メールや 구글 クラウド スルム 等、いつでもどこでも、伝えた事実が残る便利な道具がある一方、本当に大切なことは、いつの時代でもどう伝えるべきかを身に付けさせることも、大人として大切な役目ではないでしょうか。

将来の自分の信用のために

報告・連絡・相談

ができる大人となっていくってほしいものです。

そして オープンハイスクール



数多くの中学三年生が、三校統合一期生として、皆さんの姿を通して、昨年の皆さん以上に姫路南高校に夢を見たと思います。

自分たちもそうだし、中学三年生もそう。自分が見た夢、自分が見ようとした夢を裏切ることがないように、目の前の日々を大切にしましょう。



いよいよ二学期へ出陣！

今月の勧め

五月 「無駄」
 六月 「諦めない」
 七月 「捨てる」
 一学期末 「チャレンジ」

ここ三年、県大会で神戸に行くときに宿泊をするようになりました。

理由の一つは、朝の早い役職に自宅からの移動が寄る年波辛くなってきたこと、期間中に一回、大学の同級生の自宅を訪問させてもらうことになったからです。きっかけは、同級生の子供さんが陸上競技をすることになったことで、訪問の際には二つの縁をもらうことになりました。一つは父親と、もう一つは子供さんとの陸上競技談義です。

「縁」とは、作法的にできるものもあれば、気がつけば不思議な「縁」を持つこともあります。今回の訪問に関しては、後者の方でした。

今回は、当初宿泊するかどうか迷いました。夏休みであること、土曜からの開始であること。ただ、次の日がオープンハイスクールであるために、宿泊を決断したのですが、予約時期が遅れてしまい、安く近い宿泊先が見当たらず、「縁」が持てたのは、大学時代に陸上競技部として活動したグラウンドに近い「ゲストハウス」でした。勿論、私が現役時代には存在していなかったのですが、与えて頂いた部屋には、テレビも冷蔵庫もなかったのですが、懐かしい私鉄電車の音を、心地よい騒音として心と体を休める三日間にすることができた部屋でした。

二泊目には、よく利用させてもらっていた銭湯を訪れました。ゲストハウスにはシャワールームしかないこと、昔お世話になった商店街も久しぶりに歩いてみたいと思ったこと、その終点にあったのが訪れた銭湯でした。

三十年ぶりかの利用なので、阪神淡路大震災も経た後のため、表の様相は様変わりしていましたが、驚いたのは、入湯料がスーパー銭湯ではなく銭湯仕様の料金であったこと。それと、(ここからは少しだけ表現も含めて、少し目を瞑ってもらえたら)今ではなかなかないですが、背中に墨を背負われた方も昔並みにお目にかかることができました。

学生時代の思い出として、大学の大会直後、この銭湯で両足が吊って身動きが取れなくなったときに、前出のタイプの方々に助けて頂いたことを懐かしく感じながら、昔の「縁」を楽しむことができました。自分自身、人は「見かけから」始まるとは思っていませんが、いろんな経験のおかげで、人は「見かけによらない」ということもたくさん経験させてもらえたかと思えます。

縁は異なるもの味なもの

毎回、学年通信の中に取り留めないように見える話を入れていますが、実はその号毎に伝えたいことを掲載させてもらっています。まずは、

保護者への間違いない手渡しを

一度は目を通して頂くことを

この機会に、改めてお願いします。すべては、後悔のない三年間となるように。ということ、今月の勧めは「縁を辿る」でした。

職業人講話感想(まとめ)

講座名	主要な感想
JTB西日本	旅行会社の方に話を聞く機会がなかったので、初めて知ることができたことがたくさんあって面白かったです。自分が中学生の時に修学旅行で行って、すごく楽しい思い出が作れたのも、旅行会社の方達が多くの時間を使って私たちのことを考えながら、企画を立ててくださったおかげなんだと、感謝の気持ちになりました。誰かの笑顔のために働けるいい職業だと思いました。
イオンリテール	好きなこと≠やりたいこと、ヒントは動詞に?ということをはじめに聞き自分の強みを生かせる職業に就きたいと感じました。
グローリー	グローリー工業では国内だけではなく海外にも拠点があるので、社内で英語研修を行うなど、会社全体で取り組みを行うことが多い企業だということを知りました。3現主義(現場、現物、現実)を大切にすること、人脈形成を大事にすることを学びました。
コナミスポーツクラブ	コナミスポーツの仕事内容には①フロント②フィットネス③その他のコーチ④清掃があり、最初は掃除やティッシュ配りなどをすることも大切。一番のやり甲斐はお子様やお客様に「うれしい」や「ありがとう」と言ってもらえること。生活を豊かにする可能性もあるが子供などには悪影響を与えてしまう可能性もあるので注意している
ツカザキ病院	看護師は医師の下で働くと思っていたけれど、チームとして働いているんだと知った。看護師は24時間患者に寄り添うので、医師に伝えられないことも看護師に相談されるので、たくさん患者を支える必要がある。そのためには、コミュニケーションをしっかりと取ることが大切だと思った。
勝原保育園	幼稚園や保育園、こども園の先生たちは子供が自分で成長できるように、子供を見守ることを聞いて素敵だと思った。
積水ハウス	高校・大学で学んでおくこととして、『感性を磨く、空間を味わう、積極的に行く、関心を持つ』など、学ぶべきものをたくさん知りました。業務時間が長い、打ち合わせや問い合わせ、SNSなどの情報が多いなど、仕事をする中で苦勞もあつたり、壁や床を造る体験、自分たちが建てた家を利用してもらうなど、仕事をする中で喜びもあり、それらが両立して成り立っているんだと思いました。
読売新聞	新聞社には色々な仕事があつて、それぞれが専門的なものかと思っていたら、1つの事だけということは少なく、複数の仕事をしている人が多く、特に取材記者は500人/1000人の約半数の人がして驚いた。又、色々な人と接してきた土屋さんの意見を聞くのは、面白いと思った。
姫路市役所	公務員全体の話や、市役所内での仕事の話を知ることができました。公務員の仕事の幅や内容は様々でしたが、「全体の奉仕者」として、社会に貢献しているのはすごく大変なことだと思つたし、その分やり甲斐もたくさんある仕事ではないかと思つた。
管理栄養士	体は水分、タンパク質などでできていると思っていたが、自分が食べたものでできているのが正解でした。管理栄養士になるには、専門学校から国家試験を受けて合格する確率が95%でしたが、実習を経てから国家試験を受けると20%にまで下がってしまうことがわかりました。管理栄養士はいろんな場所で活躍していて大変だけれど、すごくやり甲斐があるとありました。人とコミュニケーションをとることが大事。

一学期期末考査後に実施した職業人講話を、進路指導部が集約をしてくださいました。各講座ともに受講生の共通意見として多かったものを、右の表にまとめました。

キーワードは

「好きなこと ≠ やりたいこと」

「やり甲斐」

世の中で、目指す道を進み続けられる人は、本当に少ない。でも、社会が元氣であるのは何故か。それは、与えられた仕事を全うするために、やり甲斐を見つけて仕事ができる社会だからです。人と人がいる以上、相性や好き嫌いはあつて当たり前ですが、好き嫌いで仕事をことと向き合つては達成感もやり甲斐も感じることができません。苦手なものから遠ざかることなく、私達に、苦手なもの先のにあるものを皆さんに見せて、達成感を手にする手助けをさせてもらえるような、今学期にしましょう。